



2026年5月29日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問合せ先 取締役代表執行役副社長 松井 亮介
(TEL. 03-6214-3600)

Gyre Pharmaceuticals 「2025-2026年 中国の未来のユニコーン企業 TOP50」 に選出



中国の投資・新経済領域における有力なリサーチ機関である「融中（融中研究）」が主催する、「融中 2025-2026 年度 中国 POWER50 企業リスト」が正式に発表されました。このたび、医療健康分野におけるこれまでの業績と成長ポテンシャルが評価され、当社グループの主要な構成企業である Gyre Pharmaceuticals Co., Ltd.（中国現地法人名：北京康蒂尼药业有限公司、以下「Gyre Pharmaceuticals」）が「融中 2025-2026 年度 中国の未来のユニコーン企業 TOP50」に選出されたことをお知らせいたします。主催の融中は、中国の VC/PE（ベンチャーキャピタル/プライベートエクイティ）市場および新経済領域において高い評価を得ている調査機関の一つであり、同機関が発表するリストは市場のトレンドを捉える指標として業界内で広く活用されています。

今回の選出は、Gyre Pharmaceuticals の事業規模、革新性、財務健全性、および社会的評価等、多角的な指標に基づく厳格な審査を経て決定されたものであり、同社をはじめとする当社グループのこれまでの取り組みが市場および業界から総合的に評価されたものと受け止めております。

臓器線維症と希少疾患の分野において、Gyre Pharmaceuticals は新薬の研究開発から製造・商業化まで

を一貫して行う体制を構築し、未充足の医療ニーズ（アンメット・メディカル・ニーズ）の解決に向けて取り組んでまいりました。同社は今後も線維性疾患分野での強みをさらに深め、新薬パイプラインのグローバル展開を推進することで、世界中の患者さんの健康状態の改善に貢献してまいります。

【米国 SEC 規制および投資勧誘に関する重要注意事項（ディスクレーマー）】

本資料（プレスリリース本文および補足資料を含む）は、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「GNI」）が自社の株主および投資家への情報提供のみを目的として、独自の見解・判断に基づいて作成・開示するものです。米国ナスダック市場に上場する Gyre Therapeutics, Inc. (NASDAQ: GYRE) による公式な開示文書、財務報告、または将来予測に関する記述（Forward-Looking Statements）を構成、補完、あるいは承認するものではありません。

本資料に記載されている中国の国家戦略（十五五計画等）の解説、マクロ経済の動向、およびそれらに伴う当社グループの解釈や見通しは、すべて GNI が自社株主のために独立して述べている独自の主観的・客観的見解であり、Gyre Therapeutics およびその関係会社（北京康蒂尼药业有限公司等）の将来の業績、成果、または承認を保証・約束するものではありません。

本資料は、Gyre Therapeutics の証券の購入や売却、またはそれらの投資行動を勧誘・推奨するものではありません。Gyre Therapeutics への投資を検討される場合は、本資料に依拠することなく、必ず同社が米国証券取引委員会（SEC）に正式に届け出た年次報告書（Form 10-K）や四半期報告書（Form 10-Q）等の公式開示書類を基にご自身で投資判断を行ってください。

Forward-Looking Statements and No Solicitation Disclaimer

This material (including the press release and supplementary information) is prepared and disclosed solely by GNI Group Ltd. ("GNI") for the purpose of providing information to its own shareholders and investors based on its independent analysis and judgment. It does not constitute, supplement, or approve any official disclosure documents, financial reports, or forward-looking statements by Gyre Therapeutics, Inc. (NASDAQ: GYRE, "Gyre Therapeutics"). Any commentaries, interpretations, or outlooks regarding macro-economic trends or national strategies (such as the 15th Five-Year Plan) contained herein represent solely the independent subjective or objective views of GNI for its shareholders, and do not guarantee or promise the future performance, results, or regulatory approvals of Gyre Therapeutics or its affiliates (including Beijing Continent Pharmaceutical Co., Ltd.). Actual results may differ materially from those anticipated due to various risks and uncertainties, including those detailed in the "Risk Factors" section of Gyre Therapeutics' Annual Report on Form 10-K and Quarterly Reports on Form 10-Q filed with the U.S. Securities and Exchange Commission (SEC).

This material does not constitute an offer to sell or a solicitation of an offer to buy any securities of Gyre Therapeutics. Any investment decisions regarding Gyre Therapeutics should be made without reliance on this material and must be based strictly on the official disclosure documents filed by Gyre Therapeutics with the U.S. SEC.

補足資料 その1：「融中」の評価基準と、今回の選出が持つ意味（当社 GNI 独自解説）

本リリースで発表された「中国の未来のユニコーン企業 TOP50」への選出について、主催機関「融中」の業界における位置づけと、今回の選出が Gyre Pharmaceuticals にもたらす市場価値および今後の展望に

ついて、当社グループとしての独自解説を補足いたします。

1. 主催機関「融中」の客観的な信頼性と評価軸

(1) 独自データベース「Bridge Data」による厳格な検証

融中のランキングは、一般的な知名度や人気投票ではなく、同社が保有する独占的データベース融中データをベースにしています。アンケート調査、専門家へのインタビュー、および多次元の公開情報のクロスチェックを経て構築された、科学的かつ量化された成長価値評価モデルによって選出されます。

(2) 4つの重要な評価軸による、多角的な総合評価

審査は「総合実力」「革新実力」「融資実力」「社会評価」の4つの核心的な指標からなる立体的なフレームワークで行われます。企業の発展段階に応じた動的なウェイト付けがなされており、これに選ばれることは、財務・技術・ガバナンスのバランスが取れた業界のベンチマークとして客観的に評価されたことを意味します。

2. 今回の選出が今後の事業展開にもたらす効果と展望

今回のトップ50選出は、中国の新経済環境において、Gyre Pharmaceuticalsの今後の事業展開に以下のような好影響をもたらすことが期待されます。

(1) 政府による各種支援策やプロジェクトへのアプローチ

地方政府や国による各種支援（税制優遇、補助金、プロジェクト採択など）の審査において、サードパーティ機関による客観的な評価実績は有効な参考指標となります。今後、政府系ファンドや国家プロジェクトとの連携を検討する際にも、円滑なコミュニケーションを後押しするものと考えております。

(2) 医療機関や研究機関との共同開発・臨床試験の推進

新薬開発において不可欠な、主要な研究機関や大手病院（三甲病院など）との提携交渉において、同社の将来性や信頼性を示す客観的な指標の一つとして機能することが想定されます。これにより、臨床試験（治験）プロセスのより円滑な進行を目指します。

(3) 優秀なR&D人材の獲得における優位性

熾烈を極めるバイオ医薬品業界の人材獲得競争において、同社が成長性の高いリーディングカンパニーの1社であることを示す一助となります。国内外の優秀な科学者や研究人材に対する認知度を高め、R&D体制のさらなる強化に繋げてまいります。

GNIとしての独自見解

今回の選出は、中国の投資市場を牽引するプロたちが、Gyre Pharmaceuticalsの「臓器線維症へのアプローチ」および「開発から販売までを一気通貫で行うビジネスモデル」を、次世代の経済成長を担う未来の力として総合的に評価した結果であると受け止めております。

当社グループは、この資本市場・医療業界における強固な信頼と期待を追い風に、革新的新薬のグローバルな臨床開発と商業化をさらに加速させてまいります。

補足資料 その2：中国の国家戦略「十五五計画」および医療健康領域の背景（当社 GNI 独自解説）
主催機関である「融中」の公式発表において言及されている、中国の国家中期計画「十五五計画」およびマクロ経済の動向について、日本のステークホルダー向けにその位置づけを解説します。

1. 「十五五（じゅうご・ご）計画」とは

中国政府が5年ごとに発表する、「国全体の経済・社会開発のマスタープラン（5カ年計画）」のことです。2026年はちょうど第15回目の計画（2026年～2030年）がスタートする歴史的な転換点にあたるため、「十五五」と呼ばれています。国家予算、法整備、地方政府のインセンティブ、および金融機関の融資方針が、この計画に明記された目標達成に向けて一斉にコントロールされる点が特徴です。

2. 5カ年計画に産業名が掲載される重要性

中国のビジネス環境において、5カ年計画の重要産業に指定されることは、市場における「最優先の成長パス」を得ることを意味します。具体的には、以下のような変化が国を挙げて起こります。

- **資金供給の活性化：** 国家レベルの政府ファンドから、該当分野の企業へ重点的に投資が行われる傾向が強まります。
- **規制緩和と行政サポート：** 新薬の承認プロセスの迅速化や、特区における実証実験の優遇など、事業スピードを加速させるサポートが受けやすくなります。

3. 「十五五計画」における重点産業および医療健康領域の位置づけ

主催機関である融中の公式発表によると、中国経済が規模の拡大からイノベーション駆動へ舵を切る中、国家の科技実力や創新指数（イノベーション指数）が世界10位に上昇したことが示されています。こうした背景のもと、同発表では中国政府が「十五五」計画の始動に伴い、これからの世界市場をリードするハイテク・新経済領域の重点産業として、以下の具体的な方向性を明記したと言及されています。

国家戦略として明確にトップデザインに書き込まれた「六大未来産業方向」

1. 量子テクノロジー（量子科技）
2. 生物製造（バイオ製造）
3. 水素エネルギーおよび核融合エネルギー
4. 脳機械界面（BMI：ブレイン・マシン・インタフェース）
5. 身体性AI（AI搭載の人型ロボット等）
6. 第6世代移動通信（6G）

産業政策の拡充「戦略的新興産業」

1. スマートネットワーキング電気自動車（スマートEV）
2. ロボット

今回の「融中 2025-2026 年度 中国 POWER50 企業リスト」は、これら国家戦略の追い風を受ける「医療健康（メディカル・ヘルスケア）」セクターをはじめ、集積回路（集積回路）、人工知能（AI）、低空経済、商業航天などの最先端産業を対象に厳格な審査が行われました。

Gyre Pharmaceuticals が展開する臓器線維症の革新的新薬（イノベーション薬）開発ビジネスは、まさにこの国家が推進するイノベーション駆動型の「医療健康・バイオ医薬産業」の方向性に完全に合致しており、今回の「未来のユニコーン TOP50」への選出を支える強固な市場環境の追い風となっています。

【将来予測に関する注意事項】

本資料（プレスリリース本文および各補足資料を含む）に記載されている、当社グループの今後の事業展開、新薬パイプラインのグローバル展開、臨床開発、商業化の進捗、およびマクロ経済・産業政策の見通し等に関する記述は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた当社グループの予測および見解です。

これらの記述は将来の業績や成果、または規制当局による承認等を保証するものではなく、実際の成果や業績は、今後の開発進捗、規制当局の審査動向、経済情勢の変動、その他様々なリスクや不確実な要因により、記載内容と大きく異なる可能性があります。

また、本資料に掲載されている他国籍の市場データ、政策動向、およびサードパーティ機関（融中等）による評価・統計数値は、信頼に足ると判断した公開情報等から引用したものであり、当社グループがその正確性、完全性を客観的に保証するものではありません。投資家の皆様におかれましては、本資料のみに依拠して投資判断を下されることのないようお願い申し上げます。なお、当社グループは、新たな情報や将来の事象に基づき、本資料の記述を公式に更新または修正する義務を負うものではありません。

以上